

会 議 録

1 会議名

令和 7 年度 第 3 回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的な審議事項について

3 開催日時

令和 7 年 6 月 24 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 15 分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：池亀副会長、草間委員、越水委員、佐藤委員、杉田委員、千町委員、
田木委員、塚田委員、南保委員、船崎会長、山本委員、横田委員
(欠席 2 名)
- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【船崎会長】

- ・会議の開会を宣言

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【船崎会長】

- ・会議録の確認：山本委員に依頼

次第２議題「（１）自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【渡邊係長】

- ・資料No.2に基づき説明

【船崎会長】

これまでの意見を基に、会長・副会長、事務局で今後の協議の方向性について話し合った。どの分野も万遍なく出たが、意見の中で分野横断的に出た「道」について、前期委員と異なるアプローチで、地域協議会として解決方法を考えてはどうかとの提案が事務局からあった。この提案に対し、賛否など一人ずつ意見を述べていただきたい。

【草間委員】

区内を通る県道について、一番問題がある気がするので、道について進めていく方向でよいと思う。

【越水委員】

町内会長として約４年間、板倉直江津線のことをずっとやってきた。富岡小学校の間の歩道ができたのはよかったが、それ以外は全く進展がない。また、県議との会議の資料に、４年間全く変わらない写真がそのまま掲載されていたことに腹が立ち、「何も変わってない」と発言した。また、雪道についても、グリーンラインがあると言うが、雪が降ったら見えなくなる。行政は調査していると言うが、条件の一番悪いときに調査すべきで、天気の良いときに調査をしても何の意味もないと発言した。そこにいた市の職員に承知しているかと尋ねたら、黙って下を向いていた。やはり道路の整備と子供たちの通学の安全確保が一番大事だと思うので、道路について議題とすることに賛成する。

【佐藤委員】

新道区に来てから、県道の話がずっと出ている。期成同盟会が解散したと聞いている。期成同盟会で陳情してきたようだが、やはり土地を確保できないと工事しないという方向性が県にはあるので、地元の要望があっても、そこが整理されていないと話が進まない。鴨島から稲田まで、昔から変わらないなと感じている。グリーンラインについて、これは規制するのではなく、注意喚起するだけのラインである。道路に関して協議していくのであれば、当然、市道が中心になってくると思う。例えば、団地の中の除雪体制だとか、子供の安全第一を考えたときに、外側線や停止線などが消えているので、どう

いうふうに市に要望していくかとか、そういった内容になるかと思う。

【杉田委員】

特に意見はない。皆さんの意見を参考に聞きながら、考えていきたい。

【千町委員】

稲田から鴨島までの路線は、電柱が全部道路に出ている。昔の土水路が今の側溝になったこと自体はよいが、冬場の雪捨ての際は、柵がしてあって思うようにいかない。以前、電線の地中化で若干は解消できるのでないかという話をしたが、費用がかかるので、全然話題にもならないうちに消滅した経緯もある。テーマは、道路でよいと思う。

【田木委員】

道路についての議題を挙げていくことで賛成。

【塚田委員】

皆さんが話したとおり、町内が要望してもなかなか直らない。道路整備は点数制になっていると聞く。だからいつまで経っても進まない。何かいい方法はないかと思う。

【南保委員】

船崎会長や千町委員、私も町内会長協議会のメンバーで、今年、板倉直江津線の期成同盟会が解散になった。特に、鴨島から下稲田までの間がもう何十年と整備されていない。行政が何もしてくれないのに、地域協議会で道路について話し合っ、何か動くのかなという思いもある。

【渡邊係長】

市や県への要望は地域でされているので、同じ行動を地域協議会でしようということではない。道にまつわる課題について、ソフトの部分で対処する方法を皆さんで考えてはどうかという提案をしている。例えば、立哨などをされていると思うが、子供の安全確保に大人が見守るといった、道路の問題が物理的に解決するまでの間、皆さんで対処できるような提案を考えていってはどうかということの説明した。

【南保委員】

これまで何十年と変わらない。このテーマで何とかなるのか疑問である。

【山本委員】

雪道について、除雪はしてくれるが、ただ横に積むだけ。歩道は、家があるところはその家の人がボランティアでやっている。家がないところも、近所の人除雪機で掘ってくれるところもあるが、稲田 4 丁目や鴨島の奥の方では、歩道がないような状態であ

る。また、排雪も早めにしないと山積みになり、子供たちの姿が見えない場所もある。

【横田委員】

道路について、ボランティア活動など、どのようなことができるのか、それがどう解決に結びつくのかというところまで導き出せるのであれば、話し合う意味があると思うので、道路に関して取り組んでいくことで良いと思っている。

もう一つは原発の関係について、皆さんと話が共有できるかどうかという問題はあるが、安全な暮らしに向けてどう考えるかというのも大きな課題ではないかと思っている。

【船崎会長】

道路については、町内会長協議会でも取り組んでおり、去年解散したが、板倉直江津線期成同盟会もあった。特に鴨島から稲田までの間の側溝は、蓋をすれば十分解決可能だと思うが、住民がそれを良しとしない。雪が降ったら側溝に雪を落としているが、あの側溝は生活側溝なので、本当は水を流してはいけないのだが、冬になるとお金を出して頼んで流してもらっている。また、側溝に橋が架かっているので、橋を駐車場代わりにしている。何十年も前に一回蓋したことがあるが、みんな反対して蓋を取った。だから県では、住民が蓋をしてくれという意識がない限りはやらないとしている。交通事故で人が亡くなっても変わらない。千町委員が言うように、電柱を地下に埋めるのは、ものすごいお金がかかる。解決のためには、住民の意識を少し変えなきゃ駄目だと、市ではなく住民に提言するということも重要であると思う。

このほかにもう一つ大事なのは公共施設で、他の区にはいくつもあるが、新道区には住民が集まって話し合える場所は地区公民館しかない。

【池亀副会長】

私は5年続きの豪雪の最後ぐらいに東本町から試験場前の団地に引っ越してきた。その際、道路が広いこと、道路に電柱がないこと、井戸水が出ることの三つが選定条件だった。道路整備が中々進まないのは実感している。住み良くするためにはどういうことができるか、除雪の連携の話もあったが、どのようにソフト面で変えていくことができるのかと論議をしていった方が、課題解決としてはお互い共有できるのかなと思う。

【船崎会長】

道路について、ハード面だけでなく、基本的にはソフト面でどうしたらよいかということで、議論を進めていくことでよいか。

(よしの声)

【渡邊係長】

今後どのように進めていくのか、スケジュールを説明する。

- ・資料No.1に基づき説明

【船崎会長】

今、事務局から説明があったが、これについて何か意見、質問はあるか。

【佐藤委員】

先回、地域政策課が15区と13区の現状だとか、いろんなまちづくり振興会、例えばRMOの関係だとか、地域のつながりをどう作っていくのか、地域をマネジメントしながら、それを組織化していくとか、どことどこがつながっていくのかという話をしていたと思う。今回、テーマが道路になったが、ハード面の話がほとんどになるのではないかと思う。基本的にソフト面ということで、地域とのつながりをどういうふうにしているか、活性化委員会をもっと実働部隊にしていこうとか、組織をこれからどういうふうにしていけば、この地域は良くなっていくのかということをお話し合うのが大事なのではないか。最終的な目標として、地域をどうやって活性化していくとか、そういうところに持っていくのであれば、違うテーマがよいと感じた。

【渡邊係長】

先ほど会長からも話があったが、道路を直すとか物理的な部分ではなく、ソフト面からアプローチができないかと提案した。例えば、街中のウォーキング大会を実施することで、道から地域の問題に関する理解を深め、地域の人たちの意識を変えるという部分にアプローチができるのではないか。市に対するハードの要望ではなく、地域への提案というような形で、皆さんがアイデアをいろいろ出してメニューを沢山用意する。道から、こんな地域活動ができるといったアイデア出しをすることでもよいかと思っている。

【船崎会長】

先般、健康ウォーキングが行われたが、土手を歩くだけでなく、街中を歩くことで危険箇所を知ることができ、住民の意識を変えることもできるかもしれない。

それでは、次回から道についての議論を活発にやっていきたい。

以上で、議題の1、自主的審議事項について終了する。

議題2 その他(1)の次回開催日について、事務局に説明を求める。

【渡邊係長】

一つ目、開会時間の変更について。皆さんにアンケートを取ったところ、6時からの開

始で問題ないとの意見が多かったので、次回から 6 時からの開催としたい。ただし、12 月から 3 月辺りの降雪期は移動に時間かかるので、道路事情に鑑み、6 時半に戻すといった、柔軟な対応をしたい。

二つ目、開催日の変更について。少し先の話だが、9 月の開催予定日、定例の第 4 火曜日は 23 日で祝日のため、前後にするよりも同じ火曜日の 30 日としたい。

以上の 2 点についてお諮りいただきたい。

【船崎会長】

一つ目は、開会時間。7 月からは 6 時とし、降雪時期は 6 時半からとしてよいか。

二つ目は、9 月の開催日。9 月 23 日は秋分の日ということで 30 日の火曜日に変更したいとの提案である。変更することでよいか。

(よしの声)

意見が無いようなので、以上で、次第 2 議題「(2) その他」を終了する。

次に、次第 3 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：7 月 22 日（火）午後 6 時から

新道地区公民館 多目的ホール（予定）

【船崎会長】

以上で次第 3 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第 3 その他「(2) その他」に入る。

他に何かあるか。

(無しの声)

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。